



# 特集

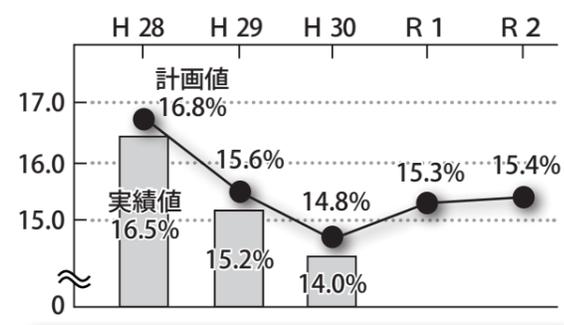
# 留萌市中期財政計画の進行状況について

市では、「留萌市中期財政計画（平成28～32（令和2）年度）」に基づき、健全で持続可能な財政運営を推進しています。

問 市・財務課 ☎ 42-1813

## (2) 実質公債費比率

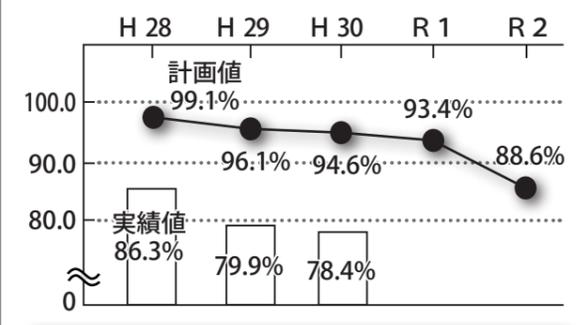
◎財政規模に対する一般会計で負担する地方債などの返済金の比率です。



平成30年度は、健全な財政運営を進めた結果、計画どおり国が定めた健全団体水準（25.0%未満）を維持しています。

## (3) 将来負担比率

◎財政規模に対する将来負担する実質的な負債残高の比率です。



平成30年度は、健全な財政運営を進めた結果、計画どおり国が定めた健全団体水準（350.0%未満）を維持しています。

## (4) 市債発行額

◎留萌市中期財政計画では、市債発行額を「各年度投資事業10億円目安（過疎対策事業債ソフト分を除く）」と定めています。

平成30年度は、投資事業10億円と過疎対策事業債ソフト分1億円の目安に対し、合計8億7,670万円を発行しました。

## (5) 財政調整基金残高

◎留萌市中期財政計画では、標準財政規模比20%（平成30年度は14億9,811万円）の残高確保を目標としています。

平成30年度の残高は、病院事業会計への追加の繰出金などにより、目標額よりも1億7,808万円下回る13億2,003万円となっており、目標額を上回る残高を確保することができませんでした。

## ■今後の財政見通し

(単位：百万円)

区分	令和元年度		令和2年度	
	総額	一般財源	総額	一般財源
収入	13,443	9,085	13,333	8,611
支出	13,917	9,559	13,378	8,656
収支差引額	- 474		- 45	

市では今後、少子高齢化や人口減少が全国的に進む時代の流れを十分に考慮し、財政運営とまちづくりとのバランスを視野に入れながら、限られた財源の中で最大限の効果を出すため、真に必要な事業の実施や公共施設の再配置などの取り組みを加速させるとともに、次期病院改革プランでの支援内容の協議を進め、持続可能な財政の運営に努めていきます。

▼留萌市中期財政計画では、計画の進行管理を目的に、毎年向こう5カ年の財政見通しを作成して公表することとしています。ただし、令和3年度以降については、次期財政計画に伴う財政規律の見直しや次期病院改革プランの策定などの不確定要素があり、収支の算出に大きく影響することから、来年度に策定する次期財政計画の中で改めて公表します。

## 「留萌市中期財政計画」5つの財政規律

▼留萌市中期財政計画では、規律ある財政運営を進めるために5つの財政規律（基準）を設定し、年度ごとに現状を分析して計画の進行状況を確認しています。

### ■平成30年度の実績

◎財政規模に対する連結実質赤字額（各会計の差引額の合計）の比率です。ただし、合計値が黒字の場合は「実質赤字額なし」となります。

#### (1) 連結実質赤字比率

【平成30年度決算】

会計名	収入	支出	差引額
一般会計	140億0,647万円	137億8,637万円	+ 2億2,010万円
	(形式収支－翌年度繰り越し分＝実質収支)		① + 2億1,601万円
国民健康保険事業	21億5,176万円	21億2,005万円	② + 3,171万円
後期高齢者医療事業	3億4,940万円	3億4,820万円	③ + 120万円
介護保険事業	22億0,264万円	21億4,909万円	④ + 5,355万円
港湾事業	1億8,232万円	1億8,232万円	⑤ ± 0万円
下水道事業	12億7,044万円	12億7,044万円	⑥ ± 0万円
水道事業	3億7,875万円	9,494万円	⑦ + 2億8,381万円
病院事業	10億0,333万円	13億5,564万円	⑧ - 3億5,231万円

差引額(①～⑧)の合計値 + 2億3,397万円

#### 【平成30年度連結実質赤字比率】

連結実質赤字比率 (%)	連結実質赤字額
実質赤字比率なし	実質赤字額なし (黒字のため)

平成30年度は、病院事業会計で赤字となっているものの、合計値が黒字となっていることから、連結実質赤字比率は生じていません。

